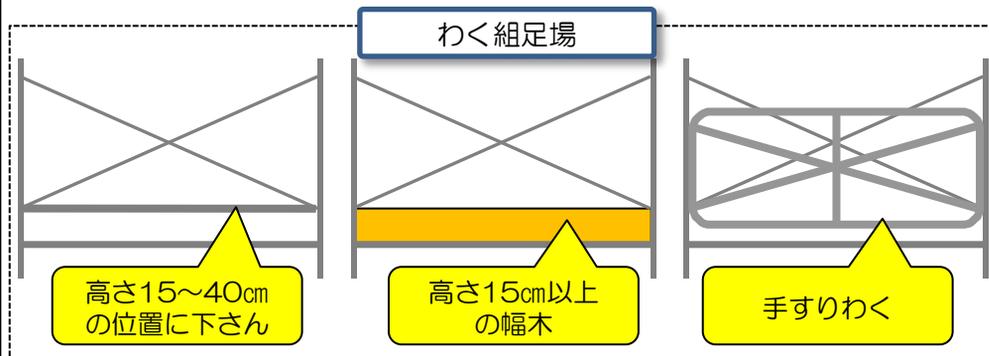
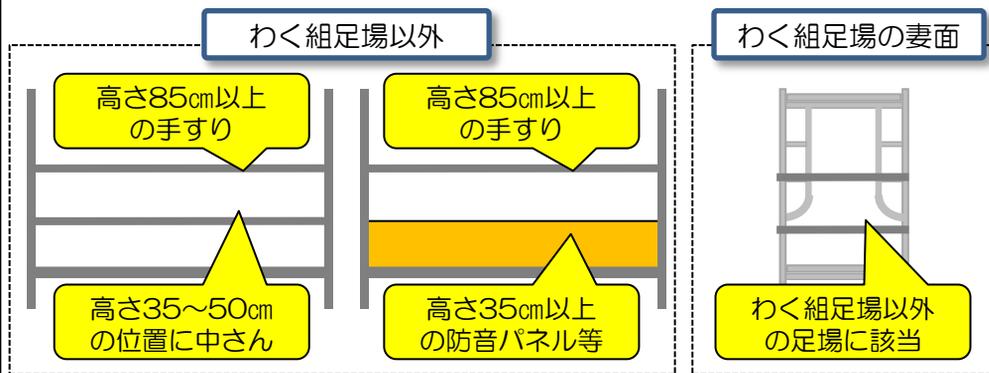


安衛則に基づく墜落防止措置



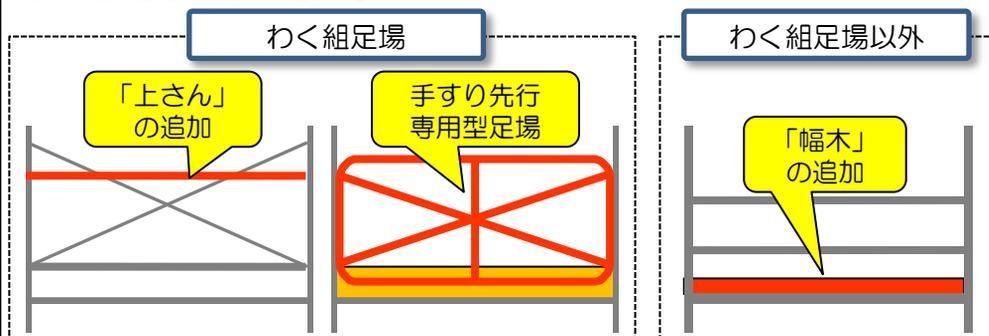
- いずれかの措置が必要です
- ① 「交さ筋かい」 + 「下さん」
※ 高さ15~40cmの位置
 - ② 「手すりわく」



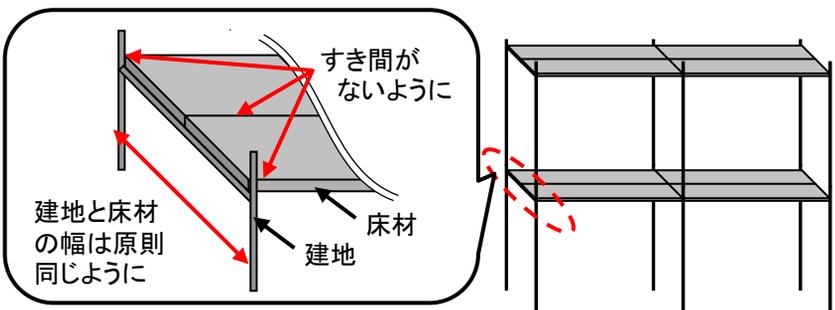
- 両方の措置が必要です
- ① 「手すり」
※ 高さ85cm以上
 - ② 「中さん」
※ 高さ35~50cmの位置

安衛則の確実な実施に併せて実施することが望ましい「より安全な措置」等

● 「より安全な措置」



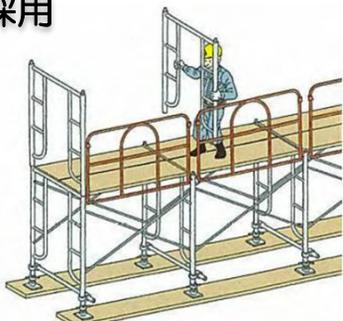
- 【わく組足場】
- ・ 「上さん」の追加
 - ・ 「手すり先行専用型足場」の設置
- 【わく組足場以外】
- ・ 「幅木」の追加



- ・ 「建地」と「床材」の幅を原則同じ寸法にしましょう
- ・ 「建地」と「床材」にすき間をつくらないようにしましょう

● 手すり先行工法の採用

- ・ 足場の組立等の作業には、積極的に「手すり先行工法」を採用しましょう



● 足場の点検の確実な実施

足場等の種類別点検チェックリスト () 足場用- (注1)

足場等点検チェックリスト

工事名 () 事業場名 () 工期 () ~ () (注2)

点検者職氏名 () (注3)

点検日 () 年月日 () (注4)

点検実施理由 (悪天候後、地震後、足場の組立後、一部解体後、変更後) (その詳細) (注5)

点検事項(注6)	点検の内容(注7)
1 床材の損傷、取付け及び摺接しの状態	
2 建地、布、腕木	

足場の種類に応じた「チェックリスト」を活用

1 足場に関連する各作業段階において留意すべき事項

建築物等の設計段階

発注者が留意すべきこと

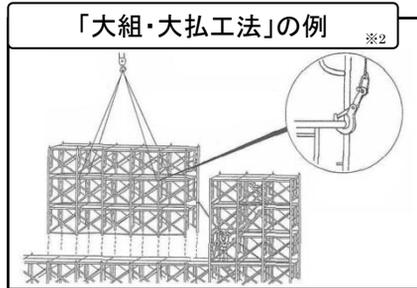
足場上での高所作業が少なく済むような工法を採用するようにしてください。

足場の設計・計画段階

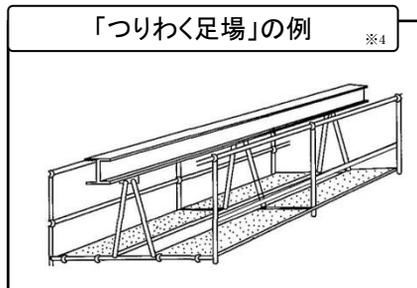
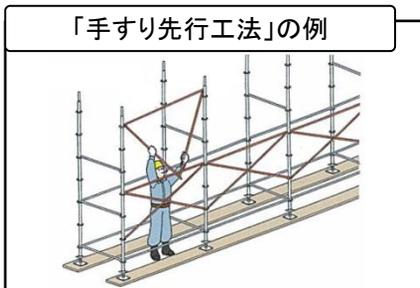
元方事業者・足場の設置業者が留意すべきこと

(1) 足場の組立て等の際の最上層からの墜落・転落災害の防止

- ・高所での組立・解体作業が少なく済む工法を採用するようにしてください。
- ・「つり足場」など、組立・解体時のリスクが高い足場ではなく、ゴンドラや高所作業車を用いた工法についても検討してください。



- ・足場の最上層で組立て等の作業を行う場合には、安易に安全帯等に頼らず、「手すり先行工法」等設備的対策を優先的に採用してください。



(2) 通常作業時における墜落・転落災害の防止

【墜落する「すき間」が少ない足場にしましょう】

- ・足場上での各種作業を考慮したリスクアセスメントを実施し、その結果を踏まえ、現場の実態に即した墜落防止措置を採用してください。
- ・安衛則に基づく措置に加え、「より安全な措置」を積極的に採用してください。
- ・また、墜落防止措置の効果を高めるため、作業床と建地の「すき間」は極力小さくしてください。



【不安全行動をしないで済む足場にしましょう】

- ・昇降設備は足場上での作業状況を踏まえ、適切な位置に必要な数を設置してください。
- ・「昇降階段」の設置が困難な場合には、ハッチ式の床付き布わくと昇降はしごを組み合わせて設置する等により、不安全行動の誘発を防止してください。

